

肥後 洋一朗 <http://y-higo.net/>

GO! HIGO JOURNAL

2018年 春号



公明党 大阪府議会議員 肥後 洋一朗 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貫々堂ビル203号 TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145

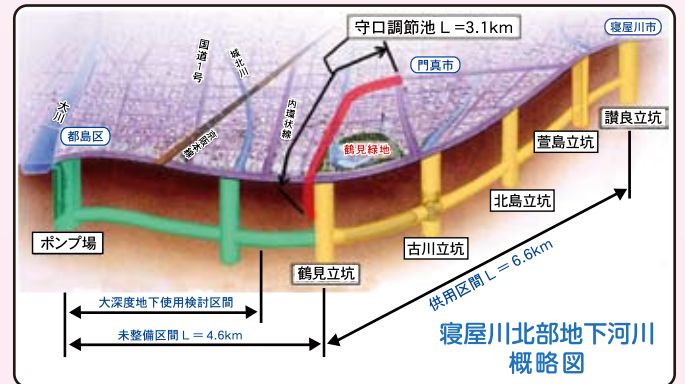


都市住宅常任委員会で質問するひご府議

▶ 大深度地下使用法で寝屋川北部地下河川の完成を!

浸水被害軽減に大きな効果を発揮する寝屋川北部地下河川は、鶴見立坑（守口市）～讃良立坑（寝屋川市）の区間が平成27年度末に完成し、貯留施設として暫定的に供用されています。

ひご府議はこれまで大深度地下使用法を適用し、地下河川を一刻も早く完成させるよう府に訴えてきました。先の委員会で大阪府河川整備課長は「2月28日に国土交通省に対して（大深度地下使用法の）認可取得に向けた申請を行った。平成31年度の工事着手をめざし取り組んでいく。」と答弁しました。



▶ 高宮ポンプ場整備事業起工式

2月15日、高宮ポンプ場整備事業の起工式に出席。この事業は、大雨時における浸水被害の軽減を図るため、高宮ポンプ場並びに秦高宮雨水幹線を建設するもの。平成33年度の完成を目指します。これまで国に対し交付金総額拡大の予算要望を行ってきました。



起工式で挨拶するひご府議



H29.12.8 石井国交相に予算要望

▶ 密集市街地対策～対馬江大利線の無電柱化を!

ひご府議は、都市計画道路対馬江大利線について、現在、市が事業を進めている区間（京阪寝屋川市駅前～府道木屋門真線）は、市の整備アクションプログラムで無電柱化することを確認し、また府が整備する区間についても電柱の倒壊によって住民の避難や緊急車両の通行に支障をきたさないよう、無電柱化を進めるべきと訴え、府道路整備課長は「府が整備を行う、府道八尾茨木線から府道木屋門真線までの区間においても、密集市街地の区域との連続性も考慮しつつ、道路整備と併せて無電柱化を実施していく。」と答弁しました。



◀ 対馬江大利線



一部無電柱化された寝屋川駅前線沿道

▶ 寝屋川市 東部エリアの活性化を!

JR東寝屋川駅周辺の、東部エリアの発展のため、国に対し寝屋川市とともに予算要望を行ってきました。先の委員会ではこのエリアの活性化に寄与する寝屋川公園の活性化を求めるとともに、JR東寝屋川駅へのアクセス道路である府道枚方富田林泉佐野線（東寝屋川駅前線から明和小学校までの約260mの区間）が、道幅も狭く大変危険であることから、早期の歩道整備を求め、府道路環境課長は「着実に歩道整備に取り組んでいく。」と明言しました。



▶ 寝屋川ハーフマラソン2018、大盛況!

健康増進やスポーツの振興を図り、市域の活性化とにぎわいの創出を目的に開催される寝屋川ハーフマラソンは今年で第6回を迎えました。参加者は約5千人。



参加者数も毎年増加し、マラソンファンの評価も年々上昇、今では寝屋川市の注目イベントとなっています。今後も寝屋川公園を活用して様々なスポーツの振興を図ってまいります。

◀ 寝屋川ハーフマラソン完走! タイム 2時間20分12秒



府道 枚方富田林泉佐野線

★ 府政に対するご意見、ご要望をお寄せください。

肥後 洋一朗ホームページはこちら
<http://www.y-higo.net/>



公明党 大阪府議会ニュース

平成30年 春号

Komeito Osaka Prefectural Assembly News

発行／公明党大阪府議会議員団

〒540-8570
大阪市中央区大手前 2-1-22
TEL:06-6941-0286
FAX:06-6942-4060



▲代表質問する八重樫議員

知事トップにSDGs推進本部設置へ 重粒子線治療にローン創設と利子補給 2月定例会 公明党府議団代表質問より

2月23日から3月23日まで開かれた平成30年2月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を展開しました。3月1日には八重樫善幸議員（幹事長、豊中市選出）が代表質問に立ち、SDGs（持続可能な開発目標）や、最先端がん治療の費用補助などについて質疑・質問をしました。詳細は以下の通りです。

2025年万博誘致を実現へ 調査団は大阪を評価

国際社会が取り組むSDGsについて、「いのち輝く未来社会を掲げ、2025年万博誘致をめざす大阪府こそが率先して推進すべきだ」とし、全庁的なSDGs推進体制の構築を迫りました。知事は「SDGs推進のための庁内推進本部を設置し、全庁一丸となった取り組みを進める」と応じました。

3月7、8日にはBIE調査団が大阪を訪れ、大阪府・市の関係者との意見交換や会場予定地の夢洲を視察しました。調査団は政府による財政保証を踏まえ「経済的にも開催は可能」とし、国内機運の盛り上がりについても「市民の希望を確認できた」と評価しました。



▲BIE調査団と意見交換（3月7日、大阪市役所）



▲万博誘致ロゴの入った旗が並ぶ御堂筋

がん患者の治療費負担を軽減へ

府内初の重粒子線がん治療を行うセンターが3月に開院したことに触れ、副作用が少ない最先端の重粒子線治療費が高額であることから、患者負担を軽減するための利子補給に加え助成制度の実現を訴えました。府は金融機関と連携した重粒子線治療費専用ローンの創設と利子補給の実施を明言しました。さらに、公明党府議団はがんと闘う子どもたち向けの治療費支援制度の創設を求めています。



▲府内初の重粒子線がん治療を行うセンター

LINEでいじめ相談 府内中高生39万人を対象に準備

中学生や高校生の間で広く使われているLINEを活用したいじめなどの悩み相談に本格的に取り組むべきだと問いただしました。府は政令市を除く公立、私立学校の全中高生39万人を対象に年間50日程度の実施へ準備していると答えました。



・討論より・

3月23日の本会議で上程議案などに対し、公明党府議団の意見を表明する「討論」をしました。概要は以下の通りです。

- わが会派が誘致を推進してきた20か国・地域首脳会議（G20）の2019年大阪開催の決定は大変に喜ばしいこと。万全の体制で会議を成功させるとともに、府民に開催の意義を理解してもらう取り組みを。
- 子どもの貧困問題は府政の最優先課題。子ども食堂についての総合窓口を設置するだけでなく、ひとり親家庭の就労支援など施策を総動員して対策に当たるべき。
- 少子化対策で教育の支援は重要。国による私立高校の授業料無償化制度が実現した場合、生み出された一般財源は教育支援や教育環境の充実に最優先に振り向けるべき。

公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。
▶ <http://www.komei-fu.com>

